

金沢はるみ

日本共産党 神戸市会議員



北区の
地域医療を
守りましょう！

北区には、JCHO神戸中央病院と済生会兵庫県病院のふたつの公的病院があります。どちらも、救急医療や専門的な医療など、主に「急性期医療」を担う病院として重要な役割を果たしています。

しかし、兵庫県がつくった「地域医療構想」では、神戸市の「急性期」の病床をへらし、「回復期」の病床を増やす計画となっており、北区でも「急性期」の病床が減り続けています。二つの公的病院が、これからはっきり地域医療を担えるのか、不安の声も出ています。



JCHO神戸中央病院

JCHO神戸中央病院では、病床が減り続けている！

JCHO神戸中央病院の許可病床は424床ですが、実際稼働している病床は350床で、診療科も産科は医師不足のため現在診療していません。慢性的な医師・看護師不足で、小児救急は当番日のみとなり、眼科は外来診療のみ、放射線治療も医師確保が困難・機器老朽化で中止になりました。中核病院として、機能の充実がなんとしても必要です。

済生会兵庫県病院は、三田市民病院との連携・統合の方向で、病院機能が弱まる可能性が！



済生会兵庫県病院

済生会兵庫県病院は、現在260床の病床が稼働しており、北神地域の中核病院としての役割を果たしています。しかし、神戸大学病院や三田市は「三田市民病院」を民営化し、近隣の病院と統合しようとしています。済生会病院との統合が懸念されています。また、統合しない場合でも、連携といって、診療科を二つの病院で分ける可能性もあり「すべての診療科がある総合病院」としての運動が大切です。

神戸市は地域医療を守るために役割を果たすべき！

神戸市は、4つの市民病院に対して、今年度約100億円の支援を行います。また、ポートアイランドの医療産業都市にも毎年多額の資金を投じています。しかし、公的病院に対しては、救急医療への支援しかありません。

4月から始まった「新専門医制度」や診療報酬の改定で、病院経営は一層厳しくなっていると考えられます。神戸市は、住民の命を守る公的病院にもっと支援をすべきです。

日本共産党は、北区の地域医療を守るためにがんばります。

平成28年北管内医療機関救急搬送人員数

搬送率		
JCHO神戸中央病院	2,514人	33%
済生会兵庫県病院	881人	12%
総数	7,521人	

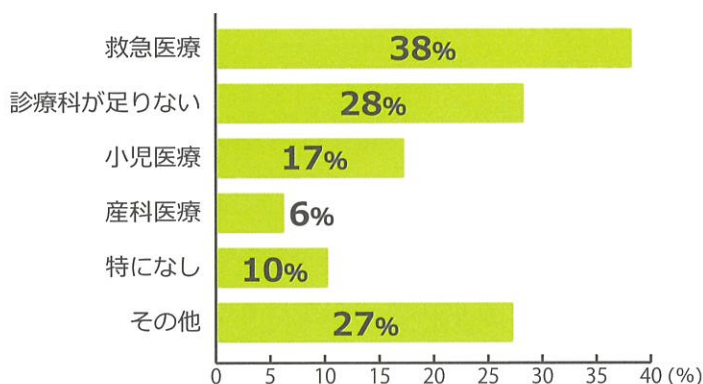
アンケートご回答ありがとうございました。

日本共産党神戸市会議員団が取り組んだアンケートに、たくさんのご回答をいただきありがとうございました。

9月10日現在、988通のご回答をいただきました。
皆さんの声を議会に届け、要望実現目指して参ります。

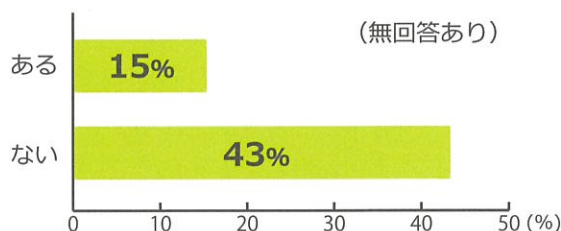


1 地域医療についてお伺いします。 この地域で、もっと充実させてほしい ことは何ですか？（複数回答可）



皮膚科・眼科・耳鼻科が少ないという声や、神戸中央病院の充実や診療科を増やすことなどを求める声も多数ありました。在宅医療や往診してくれる医師を増やしてほしいという声もありました。

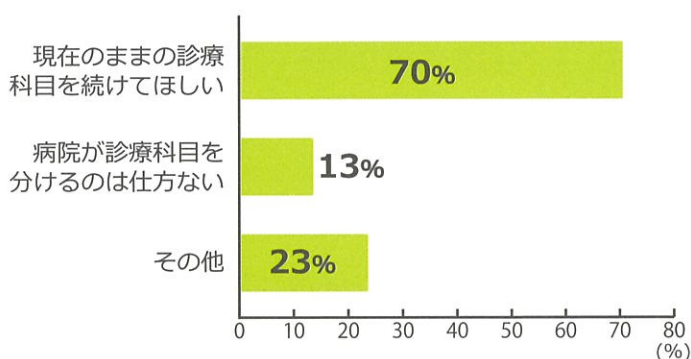
2 北区で小児救急を受け入れてくれる病院が減っています。この地域の小児救急医療で困ったことはありませんか？



子どもが熱を出したときに、救急が受け入れてもらえず、HAT神戸まで連れて行った、ポートアイランドのこども病院まで自力で連れて行った、などの声が多くありました。また、休日の診療が受けられないという声も寄せられました。

小児救急の充実・休日夜間の小児科の診療を強く求めて参ります。

3 北神地域では、済生会兵庫県病院が唯一の公的病院です。現在、お隣の三田市民病院の経営を民間に変える動きがあり、済生会病院が三田市民病院の経営を担う可能性もあります。そのことについてどう思われますか？（北神地域のみ）（複数回答可）



宣伝中の金沢議員（右）、朝倉議員（左）

なんでもお気軽にご相談ください！

◎市会控室
〒650-0001 中央区加納町6-5-1
☎ 078-322-5847

◎党北区事務所 ☎ 078-591-4755
◎議員団北区事務所 ☎ 078-987-1130





朝倉 えつ子

日本共産党神戸市会議員

発行：日本共産党神戸市会議員団 党市議団 HP: <http://www.jcp-kobe.com/>

北区には、JCHO神戸中央病院と済生会兵庫県病院のふたつの公的病院があります。どちらも、救急医療や専門的な医療など、主に「急性期医療」を担う病院として重要な役割を果たしています。

しかし、兵庫県がつくった「地域医療構想」では、神戸市の「急性期」の病床をへらし、「回復期」の病床を増やす計画となっており、北区でも「急性期」の病床が減り続けています。二つの公的病院が、これからもしっかり地域医療を担えるのか、不安の声も出ています。

**北区の
地域医療を
守りましょう！**



JCHO神戸中央病院

JCHO神戸中央病院では、病床が減り続けている！

JCHO神戸中央病院の許可病床は424床ですが、実際稼働している病床は350床で、診療科も産科は医師不足のため現在診療していません。慢性的な医師・看護師不足で、小児救急は当番日のみとなり、眼科は外来診療のみ、放射線治療も医師確保が困難・機器老朽化で中止になりました。中核病院として、機能の充実がなんとしても必要です。

済生会兵庫県病院は、三田市民病院との連携・統合の方向で、病院機能が弱まる可能性が！



済生会兵庫県病院

済生会兵庫県病院は、現在260床の病床が稼働しており、北神地域の中核病院としての役割を果たしています。しかし、神戸大学病院や三田市は「三田市民病院」を民営化し、近隣の病院と統合しようとしています。済生会病院との統合が懸念されています。また、統合しない場合でも、連携といって、診療科を二つの病院で分ける可能性もあり「すべての診療科がある総合病院」としての運動が大切です。

神戸市は地域医療を守るために役割を果たすべき！

神戸市は、4つの市民病院に対して、今年度約100億円の支援を行います。また、ポートアイランドの医療産業都市にも毎年多額の資金を投じています。しかし、公的病院に対しては、救急医療への支援しかありません。

4月から始まった「新専門医制度」や診療報酬の改定で、病院経営は一層厳しくなっていると考えられます。神戸市は、住民の命を守る公的病院にもっと支援をすべきです。

日本共産党は、北区の地域医療を守るためにがんばります。

平成28年北管内医療機関救急搬送人員数

搬送率		
JCHO神戸中央病院	2,514人	33%
済生会兵庫県病院	881人	12%
総数	7,521人	

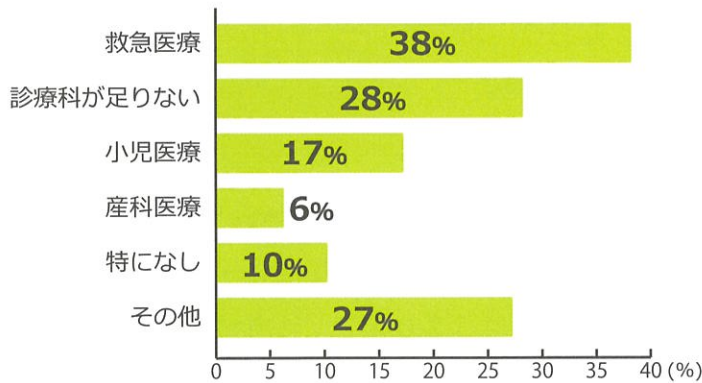
アンケートご回答ありがとうございました。

日本共産党神戸市議員団が取り組んだアンケートに、たくさんのご回答をいただきありがとうございました。

9月10日現在、988通のご回答をいただきました。
皆さんの声を議会に届け、要望実現目指して参ります。

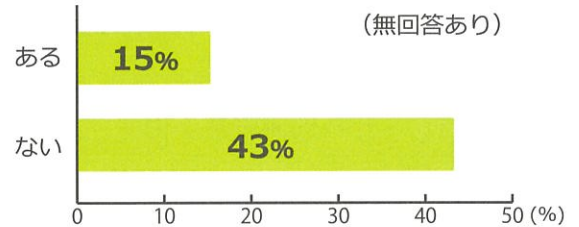


1 地域医療についてお伺いします。 この地域で、もっと充実させてほしい ことは何ですか？（複数回答可）



皮膚科・眼科・耳鼻科が少ないという声や、神戸中央病院の充実や診療科を増やすことなどを求める声も多数ありました。在宅医療や往診してくれる医師を増やしてほしいという声もありました。

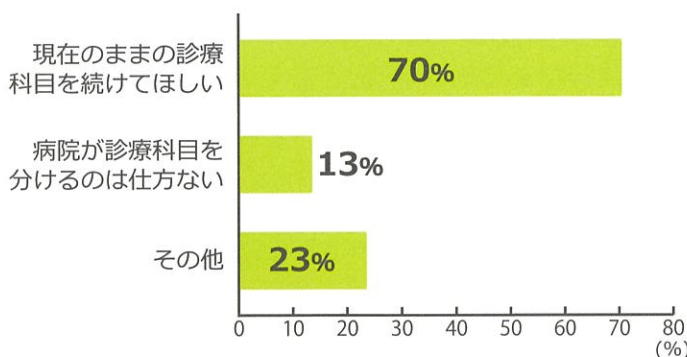
2 北区で小児救急を受け入れてくれる病院が減っています。この地域の小児救急医療で困ったことはありませんか？



子どもが熱を出したときに、救急が受け入れてもらえず、HAT神戸まで連れて行った、ポートアイランドのこども病院まで自力で連れて行った、などの声が多くありました。また、休日の診療が受けられないという声も寄せられました。

小児救急の充実・休日夜間の小児科の診療を強く求めて参ります。

3 北神地域では、済生会兵庫県病院が唯一の公的病院です。現在、お隣の三田市民病院の経営を民間に変える動きがあり、済生会病院が三田市民病院の経営を担う可能性もあります。そのことについてどう思われますか？（北神地域のみ）（複数回答可）



宣伝中の金沢議員（右）、朝倉議員（左）

市政へのご要望や身近なお困りごとなどお気軽にお声かけください。

日本共産党神戸市議員団 〒650-0001 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 TEL.078-322-5847 ●党北区事務所 TEL.078-591-4755

地域の活動などをfacebookやTwitterで報告しています。



みどり豊かな
自然を壊し

ご存知ですか？

社谷に住宅建設計画!

桃山台地域の皆さんへ

日本共産党はこれまで、社谷地区の問題で都市計画審議会や常任委員会で問題点を指摘して来ました。事業者はこれまで4回の住民説明会を開催していますが、計画では住宅地の中心を神戸明石線から桃山台の幹線道路をつなぐ道が作られる計画となっており、通過車両が大量に出る可能性があります。ところが、これに対して何の対策も取られていません。

また、開発中の土砂災害の危険性もありますが、これについても神戸市は「まだ具体的なことが決まっていない」と言って住民の不安に答えていません。

豊かな自然を壊して大規模な開発を進める計画は、住民の皆さんの願いからかけ離れたものです。

日本共産党は、皆さんと力をあわせて計画中止を求めて頑張ります。



「名谷町社谷土地区画整理事業」の
縦覧が始まります。

誰でも自由に閲覧できます。

事業計画の縦覧期間

(地区計画の内容が見れる)

10月10日(水)～10月24日(水)

縦覧場所/市役所2号館

計画に対し、
意見書を出しましょう。

意見書提出期間 10月10日(水)～11月7日(水)

神戸市会議員

今井まさこ



日本共産党

神戸市会報告
垂水区東部版 2018年9・10月号

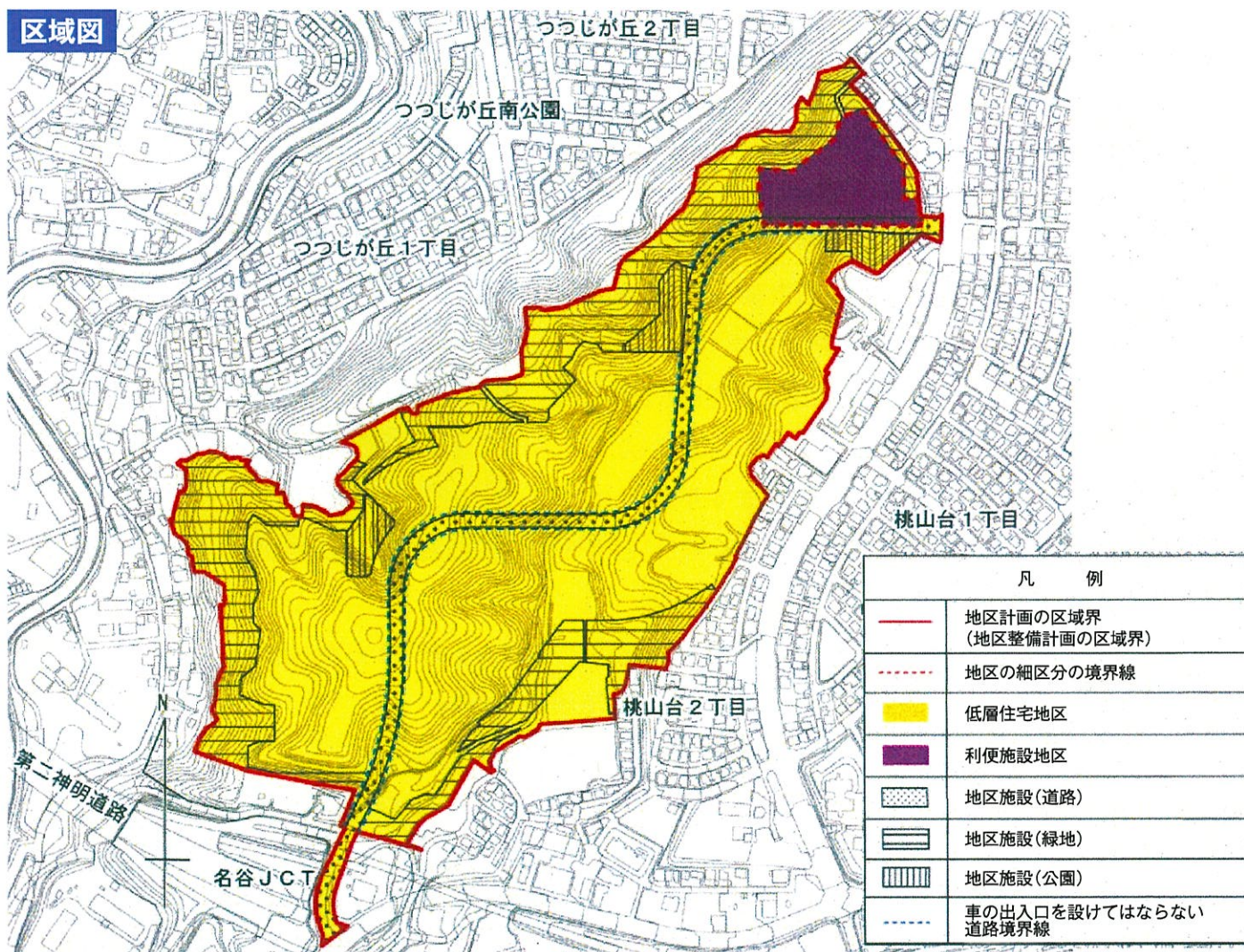
発行 日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1
TEL 078-322-5847 市議団HP <http://www.jcp-kobe.com/>

お気軽にご相談ください

日本共産党 垂水生活相談所 TEL 705-1700

条例改正の概要

地区名称を変更する（「名谷町社谷地区住宅地高度利用地区計画」から「名谷町社谷地区地区計画」へ変更）。地区計画で定められた地区整備計画のうち「建築物の用途の制限」、「建築物の敷地面積の最低限度」、「壁面の位置の制限」について条例化を行う。



● 名谷町社谷地区地区計画 条例による制限等の内容(要約)

地区の細区分	低層住宅地区	便利施設地区
建築物の用途の制限 (次に掲げる建築物は建築不可)	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同住宅、寄宿舎又は下宿 ● 学校、図書館その他これらに類するもの (集会所を除く) ● 神社、寺院、教会その他これらに類するもの ● 公衆浴場 	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同住宅、寄宿舎又は下宿 ● 学校、図書館その他これらに類するもの ● 神社、寺院、教会その他これらに類するもの ● 公衆浴場
建築物の敷地面積の 最低限度	150㎡(一部除外規定あり)	——
壁面の位置の制限	建築物の外壁等の面から道路境界線及び隣地境界線までの距離は 1m以上とすること(一部除外規定あり)	
主な用途地域	第一種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域



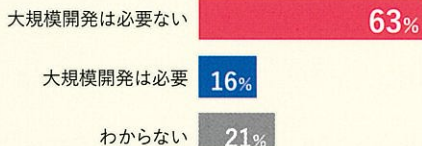
ゆうメール



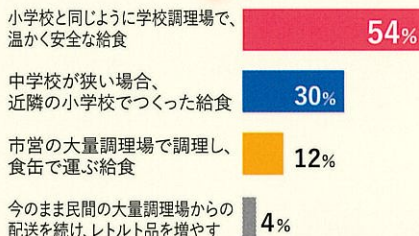
議員団アンケート中間報告より

5000人以上の市民のみなさんからご協力いただきました

Q.三宮駅周辺では、数千億円もの費用を投じて高層ビルや、市役所建て替えなど巨大な再開発をすすめています。この開発について、どう思われますか？



Q.中学校給食は現在、利用が3割台です。どんな改善が必要でしょうか？



日本共産党

神戸市会報告

中央区版 2018年秋号

神戸市会議員

大前まさひろ



区役所
会館

どうなるの!?

神戸市は「三宮再整備」として雲井通5・6丁目にバスターミナルビルを建設するため、中央区役所、勤労会館を市役所3号館跡地に移転、さらに生田文化会館、葺合文化センターも合わせて集約しようとしています。地域から会館がなくなれば、廃止と同じです。この計画の市民意見募集289件には、基本計画全般に反対する意見は79件。移転・廃止に対する賛成65件を上回っています。意見では「地域の活動の場として、『生田文化会館』の体育室は、無くてはならない存在になっています」「三宮へ施設機能を集約され生田文化会館のような文化・スポーツ施設がなくなることは、地域の住民にとって大きな痛手となります」などの声が寄せられています。これだけ多様な声があるのなら、移転・廃止を急がず、一度立ち止まって考えなおすべきです。市民の声を無視する三宮再整備は中止しかありません。



代表質疑
おしらせ

9月25日(火)14時半頃～:大前まさひろ議員が本会議で代表質疑をします。

質問項目は①「三宮再整備について」、②「過密校の解消を」、③「待機児童の解消を」の予定です。ぜひお越しく下さい。

日本共産党神戸市議団

中央区加納町6-5-1 TEL 322-5847 HP <http://www.jcp-kobe.com>

中央区事務所

神戸市中央区楠町1-12-1 TEL 351-2541 お気軽にご相談ください

市民意見409件中 賛成わずか12件 都市空間向上計画は撤回しかない！

6月25日の神戸市議会・本会議で、日本共産党神戸市会議員団の金沢はるみ議員、西ただす議員が一般質問をおこない、久元市長の政治姿勢を質しました。

神戸市は、今年3月に都市空間向上計画の基本的な考え方を発表しました。この計画は、神戸市を住み続けられる地域と住み続けられない地域に分断するものです。

神戸市が4月に行った市民意見の募集では、409件もの意見が寄せられ、賛成意見はわずか12件。多くが計画への反対意見や不安・懸念の声となりました。多くの市民が都市空間向上計画など望んでい

ないのは明らかです。

神戸市は市民の意見を踏まえ、区域名称や施策の方向性、スケジュールなどを見直した「修正案」を公表するとしています。

金沢議員は「市民意見を踏まれば、どんな修正をしたとしても、市民の理解は到底得られない」として「都市空間向上計画そのものを撤回すべき」と求めました。

金沢議員が一般質問



質問項目

1. 神戸市都市空間向上計画について
2. 国民健康保険料の問題について
3. 済生会兵庫県病院について

答弁 ダイジェスト

金沢議員：久元市長は409件の市民意見を全部見たか。

久元市長：似たような意見が沢山あり、共産党の組織的な運動の結果と感じたのでパラパラと見ただけ。

金沢議員：大変失礼な話し。パラパラっと見て反対の意見が沢山あったら、組織的な意

見だと切り捨ててしまうのか。市民の地域問題を解決して欲しいという願いが書かれているもので、地域が切り捨てられる計画に対して市民が抵抗しているもの。市民の率直な意見に対して団体的、組織的と言うのは非常に問題だ。市民のパブリックコメントに寄せられている思いを汲みとろうとしていない。

済生会兵庫県病院

済生会兵庫県病院は北神地域住民の宝

三田市では、三田市民病院を民営化し、医療圏域を越えて北区の済生会兵庫県病院と再編・統合を進めようとしています。

三田市長は、三田市民病院の新公立改革プランで「神戸医療圏域や丹波医療圏域の一

部を合わせた人口30万の医療圏、すなわち三田市、篠山市、神戸市北区の北部地域、その他周辺地域を合わせた地域を改めて想定・構築することが望ましい」と発表しました。

この改革プランを実行するための有識者による審議会で

は、再編・統合の相手に済生会病院の名前が出ています。

北区住民から神戸市議会に陳情も出され、共産党市議団は常任委員会で質問。保健福祉局長は「済生会病院は北区北神地域の中核病院として役割を果たしている」「三田市とは医療圏が違うベッドの移動はできない」と答弁していま

す。神戸市民の命と健康を守る立場からは当然のことです。

金沢議員は「済生会兵庫県病院は、北神地域の住民にとってかけがえのない地域の宝」「三田市民病院と済生会兵庫県病院の圏域を越えた統合再編は認められない」「ありえない」と市長にはっきりと表明するよう求めました。

答弁 ダイジェスト

寺崎副市長：三田市と神戸市では医療圏が異なる。基準や規定があり圏域を越えた再編統合は難しいと兵庫県などには伝えてはあ

金沢議員：再編統合が進ま

ない場合、県知事は強い権限で進めかねない。絶対に守るという一言が欲しい。

寺崎副市長：指摘のような懸念を共有し適切に対応していきたい。

保育所待機 児童対策

遊休市有地を活用した 認可保育園の建設を

久元市長は、2018年3月末までの待機児童ゼロの目標を実現できず謝罪しました。神戸市の待機児童は昨年の93人から332人と3倍以上に増えています。

日本共産党神戸市議団は、これまで、待機児童解消は、市有地などを活用した認可保

育所の建設が必要とくりかえし求めてきました。市長も待機児童対策緊急プロジェクトに取り組むとし「保育所用地の確保の努力が十分ではなかった」と認めました。

西議員は「遊休市有地を活用し認可保育所の建設を進めるべき」と求めました。

答弁 ダイジ クエスト

久元市長：待機児童を早期に解消できなかったことは申し訳なく思っている。発表した緊急対策を全力で推進したい。

西議員：どのていどの用地が確保できているのか。

寺崎副市長：取りまとめて庁内で検討し適切に社会福祉法人などに提供していきたい。

西議員：現場の声では、小規模保育所の増設では困る。認可保育所の建設の声があがっている。声をよく聞いてすすめて欲しい。

垂水区いじめ自殺問題

組織的隠ぺいを認め 自殺原因の究明を

垂水区で起こった女子中学生の自殺問題で、いじめがあったことを告発した同級生からの聞き取りメモが隠ぺいされていたことが発覚しました。

教育委員会は、その責任は隠ぺいを指示した首席指導主事とそれに従った当時の校長の2名にしかないとしていま

す。19日の教育委員会の審査では、自殺の原因を調査する第三者委員会に提出された文書では、意図的に「いじめ」の記載が削除され、隠ぺいされていたことが明らかになりました。ところが、教育長は組織的隠ぺいを否定しつづけています。

西議員は久元市長に対し

西議員が一般質問



質問項目

1. 保育所待機児童対策について
2. 神鋼石炭火力発電所について
3. 垂水区いじめ自殺問題について
4. 六甲アイランド高校の生徒飛び降り問題

「市長も責任は2名のみで、いじめの隠ぺいは組織的なも

のでなかった」と考えているのか見解を求めました。

答弁 ダイジ クエスト

久元市長：この問題に関する一連の対応は不適切極まりない。市民の信頼を著しく失墜するもの。市長とは独立した執行機関である教育委員会の自らの責任で調査措置を講じるように要請した。

西議員：教育委員会は、なんの根拠もなく組織的な隠ぺいを否定しているが、市長はこのまま黙っているのか。

久元市長：組織的な隠ぺい

の有無は教育委員会の判断。その判断を覆すにたる材料を市長として今はもちあわせていない。

西議員：子どもの命が脅かされているその原因「いじめ」の事実が教育委員会ぐるみで隠ぺいされていたことが分かったのではないかと。独立した機関であっても、教育委員会がおかしくなった場合、市民を代表する市長は積極的に意見すべき。

六甲アイランド高校の生徒飛び降り問題

生徒の人権を無視する指導は ただちにやめよ

昨年12月、六甲アイランド高校において、2日間にわたる長時間個室に入ったきりの指導を受けた生徒がその直後、校舎の5階から飛び降りるという事件が起きました。

学校と教育委員会は、指導が行き過ぎたものであったことは認めましたが、その中身はほとんど明らかにせず「飛び降りとの因果関係はわから

ない」としています。指導は別室に生徒を押し込み、2日間16時間に及ぶものでした。

西議員は「このようなやり

方は人権を脅かすものであり、指導のあり方として問題がある」として批判しました。

答弁 ダイジ クエスト

長田教育長：複数の生徒が関わるトラブルだったため時間をかけて指導する必要があった。ただ指導時間の長さ、別室指導における教師の配置などには適切なものとは言えない面もあった。指導方法の改善を行った。

西議員：密室で指導が行われたため、どんな指導がされたかが分からないのは問題。長時間の拘束が「指導」となれば許され、その内容も客観的に検証できなくなっている。このような指導はただちにあらためるべきだ。

ご挨拶

灘区にお住まいのみなさん、いつもお世話になっております。

10月1日、神戸製鋼は、石炭火力発電所を2基の建設工事に着工しました。この計画には、灘区のみならず、「子どもたちの健康は大丈夫か?」「地球温暖化に逆行するのでは」と、不安や懸念、反対の声があがっています。地元の灘区のみならず、声を全く聞かずに、工事に踏み切るなど許されません。

石炭火力発電所は、大量の大気汚染物質を排出し、灘区の空気を汚します。今夏は、全国でも灘区でも、高温、集中豪雨や洪水など深刻な異常気象と災害にみまわれ、地球温暖化との関係が指摘されています。年間約692万トンものCO₂を排出する石炭火力発電所は、地球温暖化防止にも逆行するものです。

神戸製鋼は、ただちに石炭火力発電所の増設を中止し、地球と地域環境に優しいLNG（液化天然ガス）や自然エネルギーに転換すべきです。

あじ ぐち 味口としゆき

神戸市議員



篠原台土砂災害

三宮再開発より、灘区の防災を

7月以降の台風や大雨で、大規模な土砂崩れと、広域的な浸水・冠水災害がおこりました。味口としゆき議員は、篠原台での土砂災害発生後、地域にお住まいのみなさんと力を合わせて、神戸市の支援強化を求めてきました。このもとで、私道の土砂撤去や、避難所の駐車料金の無料化、また銭湯利用について被災地域全体に無料パスを出すことに拡充されました。

被災者生活再建支援法は、阪神淡路

大震災以降の神戸市の被災者、市民が粘り強い運動で勝ち取った制度ですが、「半壊」「一部損壊」の世帯には適用されません。いまこそ、災害と被災者の現状に見合った支援法制度に拡充することが求められています。

同時に、土砂災害警戒区域に対する砂防工事など、防災の強化も急がれます。

日本共産党神戸市議員団は、不要不急の三宮再開発ではなく、灘区の防災・減災の強化へがんばります。



篠原台土砂災害現場
(右は金田峰生・党国會議員団兵庫事務所長)

学校施設の エアコン整備

熱中症対策でも 災害対策でも 特別教室・体育館に整備を



教育委員会で質問する味口としゆき議員

今夏の記録的猛暑によって、熱中症などにより病院に運ばれる人が相次ぐもとで、味口としゆき議員は、熱中症対策の改善へ全力をあげてきました。体温調節が困難な高齢者や障がい者に対しては、行政の見守りの強化と対策を求め、さらに全国では、学校現場で熱中症により児童が死に至るといった痛ましい事故も起こりましたので、万全の対策を講じることを求めました。

10月4日の決算特別委員会・教育委員会で、味口としゆき議員は、小

中学校の特別教室や体育館のエアコン整備を求めました。教育委員会は、特別教室については「数年で整備する」と答弁。さらに、災害時には避難所ともなる体育館についても、この間、避難所が開設された中学校（灘区では、上野・烏帽子・長峰）の体育館にはエアコンを設置したいとしました。また、仮設校舎（灘区では、高羽・成徳・西灘・美野丘小学校）のエアコンについても総点検をおこない、改善すると答弁しました。

市民のみなさんの願い実現へ、東奔西走



中学生自殺・いじめメモ隠ぺい問題



味口としゆき議員の議会論戦がテレビでも紹介されました。(NHK、毎日放送)

2016年、垂水区の女子中学生が自ら命を絶つ痛ましい事件が起きました。事件直後にいじめがあったことを同級生が告発。しかし、それを先生たちが記録したメモが、神戸市教育委員会の指示によって隠ぺいされ続けていました。いじめの存在を隠ぺいする教育委員会に対して、市民・保護者から怒りの声があがっているのは当然のことです。

しかし、教育委員会は、遺族が求める真相解明を最優先にしてほしい

という願いに背を向け、一部の教職員だけに責任を押しつけ、さらに学校現場への行政の介入を強める「組織改革」を図ろうとしています。

味口としゆき議員は、いじめられた生徒や保護者に寄りそうという「いじめ防止対策推進法」の精神にたち、5人の教育委員が遺族と会って真相解明にむきあうことを求めました。教育委員会の本来の役割を発揮する改革こそ、いじめ根絶の第一歩です。

国道43号線新在家・大石歩道橋のバリアフリー化を

国道43号線の新在家・大石歩道橋には、エレベーターがなく、高齢の方からは「新在家駅に行くのに、迂回しなければならぬ」という声があげられ、ベビーカーを使う子育て世代や車いす・杖を使う障がい者からは「バリアフリーにしてほしい」という願いが寄せられています。

味口としゆき議員は、国土交通

省近畿地方整備局兵庫国道事務所に、地域のみなさんと要請に行き、歩道橋にエレベーターを設置することを求めました。

地域では、「国道43号線歩道橋にエレベーターを実現する会」が結成され、自治会長など多くの方がエレベーター設置を求めています。引き続き、地域のみなさんの願い実現へがんばります。



国道事務所に要望する味口としゆき議員

小学校「置き勉自由化」へ

「置き勉」とは、持ち帰りに不要な勉強道具を学校に置くというのですが、神戸市の小学校では原則禁止になっていました。全国でも、「小学生の腰痛、実態調査」「重いカバン実態調査へ」と問題となっていました。背景にあるのは安倍政権のもとでの学習指導要領改定で、「脱ゆとり」が叫ばれ、

授業で教える内容が増え、教科書が厚くなり、教科書ページ数は34%増加。ランドセルの重さは、ある調査では平均4.64キロ。1年生の体重が20キロとすれば、体重の25%以上の荷物を持つことになっているのです。

味口としゆき議員は、これらの実態を繰り返し教育委員会に質問。教育委員会は、「置き勉

を認めるようにしたいと答弁されました。この質問は、小学1年生の子どもさんをもつ保護者の方の、「暑い中を、重いランドセルで、なんとかならんかな」というお声から始まりました。

味口としゆき議員は、引き続き灘区のみなさんのふだんの暮らしから生まれる、疑問や“つぶやき”に耳を傾け、頑張ります。



なんでもお気軽に
ご相談ください!

みなさんのご意見お待ちしております!

日本共産党灘区委員会

〒657-0043
神戸市灘区大石東町6-7-4
TEL.078-881-2581
FAX.078-882-5402
E-mail: aji1020@hotmail.co.jp

市会控室

〒650-0001
神戸市中央区加納町6-5-1
市役所1号館27階
TEL.078-322-5847
FAX.078-322-6165

味口俊之 プロフィール

1969年10月20日神戸市生まれ 灘区弓木町在住
2011年4月神戸市議員選挙で初当選 2期目
現在、文教子ども委員会、未来都市創造に関する特別委員会理事
趣味: 音楽鑑賞(ROCKから演歌まで)、銭湯めぐり
家族は、妻と息子(7歳)



これが神戸市の計画する 「将来にわたり住み続けられる 切り捨てられる 区域」です!

神戸市は、駅から離れた地域(山麓・郊外)は「人口減少のリスクが大きい地域」と決めつけ、「人口を減らさない」対策を放棄し、駅周辺に転居を誘導しようとしています。

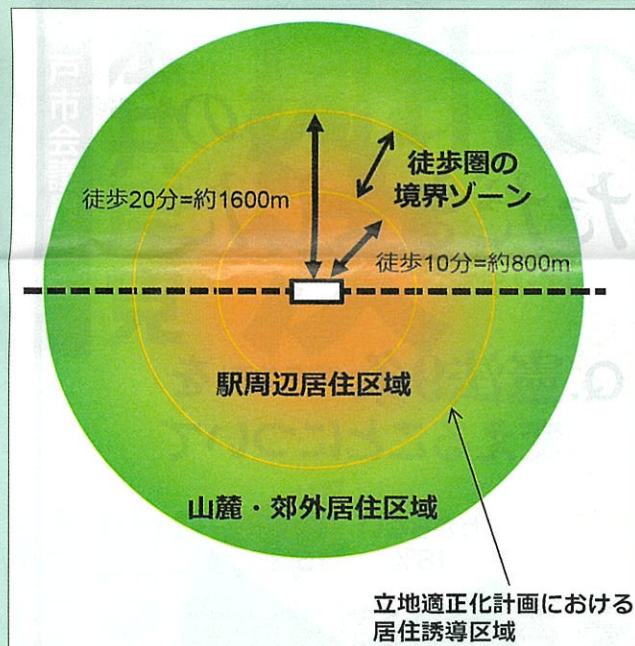
神戸市が「引き続き住める地域」と言っても「リスクが高い」と指定すれば、スーパー撤退やバス減便に拍車を掛け、住みにくくなるのは明らかではないでしょうか?

神戸市は、どこに住んでいても、等しく「将来も心地よく健やかに住み続けられる」ための努力こそ行うべきです。

神戸市は、どの地域を切り捨てるかを隠して、市民意見を募集しています。神戸市の「設定方針」をもとに、日本共産党市議団が、独自に製図・試算しましたのでご覧ください。

居住区域の設定方針 (都市空間向上計画の考え方修正案より)

境界線は、駅から800m~1600mの範囲で、坂道など地形を考慮して設定する。設定にあたって、小学校区、自治会、ふれまち協などのコミュニティは配慮しない。



- (境界の外側)
▶ **山麓・郊外居住区域** (居住誘導区域外)
- (境界の内側)
▶ **駅周辺居住区域** (居住誘導区域)

*駅周辺でも、市街化調整区域や、工業専門、臨港地区などは「駅周辺居住区域」から除外。



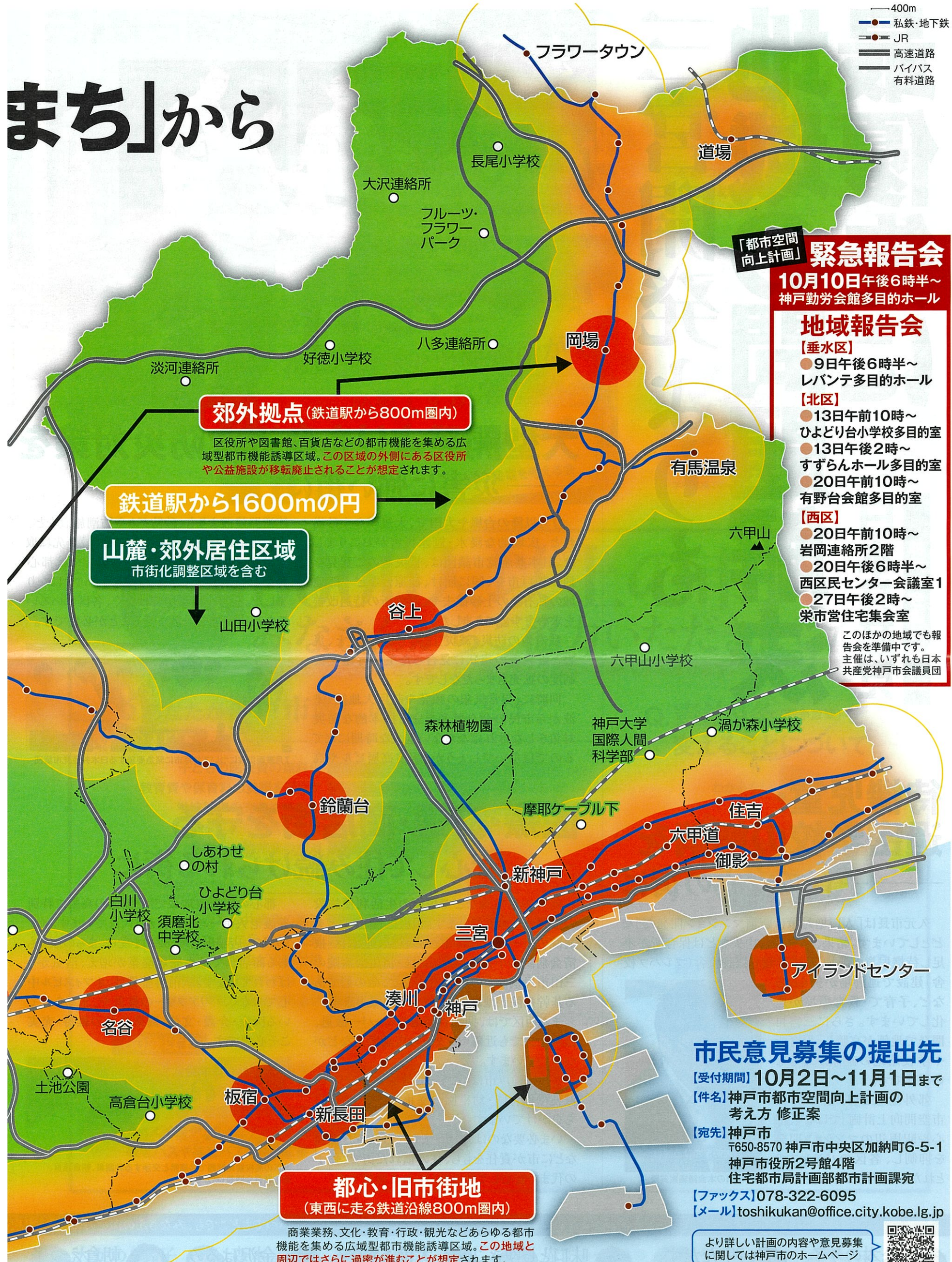
居住区域外 想定地域

- 西区** 人口の **50%以上**
曙町、天が岡、伊川谷町、池上、今寺、岩岡町、枝吉、王塚台、大沢、大津和、押部谷町、上新地、神出町、北別府、小山、白水、玉津町、天王山、中野、長畑町、福吉台、ニッ屋、丸塚、水谷、南別府、宮下、持子、森友、竜が岡、和井取、櫻野台、春日台、狩場台、榎谷町、平野町
- 垂水区** 人口の **40%前後**
朝谷町、上高丸、向陽、小東山、小東山本町、潮見が丘、塩屋北町、清水が丘、下畑町、松風台、神陵台、清玄町、星陵台、多聞台、千鳥が丘、千代が丘、つつじが丘、西脇、福田、星が丘、本多聞、舞多聞西、舞多聞東、学が丘、南多聞台、名谷町、桃山台
- 須磨区** 人口の **20%前後**
多井畑、多井畑東町、多井畑南町、高倉台、北落合、車、白川、白川台、菅の台、東白川台、妙法寺、若草町
- 北区** 人口の **10%以上**
柏尾台、桜森町、ひよどり北町、ひよどり台、ひよどり台南町、山田町、赤松台、淡河町、大沢町、上津台、道場町、長尾町上津、八多町
- その他**
[東灘区] 渦森台1丁目、渦森台3丁目、渦森台4丁目、住吉台、住吉山手9丁目
[灘区] 大月台、鶴甲2丁目、鶴甲3丁目、鶴甲4丁目、鶴甲5丁目
[兵庫区] 平野町、天王町1丁目、天王町2丁目

*丁目は全部または一部が「山麓・郊外居住区域」または「市街化調整区域」に。

まちから

- 400m
- 私鉄・地下鉄
- JR
- 高速道路
- バイパス
有料道路



郊外拠点 (鉄道駅から800m圏内)
 区役所や図書館、百貨店などの都市機能を集める広域型都市機能誘導区域。この区域の外側にある区役所や公益施設が移転廃止されることが想定されます。

鉄道駅から1600mの円

山麓・郊外居住区域
 市街化調整区域を含む

都心・旧市街地
 (東西に走る鉄道沿線800m圏内)
 商業業務、文化・教育・行政・観光などあらゆる都市機能を集める広域型都市機能誘導区域。この地域と周辺ではさらに過密が進むことが想定されます。

「都市空間向上計画」
緊急報告会

10月10日午後6時半～
 神戸勤労会館多目的ホール

地域報告会

- 【垂水区】**
 - 9日午後6時半～レバンテ多目的ホール
- 【北区】**
 - 13日午前10時～ひよどり台小学校多目的室
 - 13日午後2時～すずらんホール多目的室
 - 20日午前10時～有野台会館多目的室
- 【西区】**
 - 20日午前10時～岩岡連絡所2階
 - 20日午後6時半～西区民センター会議室1
 - 27日午後2時～栄市営住宅集会所

このほかの地域でも報告会を準備中です。
 主催は、いずれも日本共産党神戸市議員団

市民意見募集の提出先

【受付期間】10月2日～11月1日まで
 【件名】神戸市都市空間向上計画の考え方 修正案
 【宛先】神戸市
 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1
 神戸市役所2号館4階
 住宅都市局計画部都市計画課宛
 【ファックス】078-322-6095
 【メール】toshikukan@office.city.kobe.lg.jp

より詳しい計画の内容や意見募集に関しては神戸市のホームページ



三宮開発よりも 地域の問題解決 最優先に

神戸市会議員団
日本共産党

待機児童・ 過密学校の解消を ——子育て安心の街に

久元市長は「人口増対策は駅前マンション開発だ」などとしています。結果、東灘、灘、中央などは保育所が不足し待機児童が急増。小中学校も仮設校舎(プレハブ校舎)建設で運動場が狭くなるなど、子育て・教育環境が悪化しています。さらに三宮再開発で地価が高騰し、保育所や学校用地の確保ができない事態です。

郊外地域を切り捨てる「都市空間向上計画」ではなく、都心や駅周辺のマンション開発を抑制し、各区のバランスのとれたまちづくりこそ必要です。



大前まさひろ議員
6月15日の本会議議案質疑



大型開発よりも身近な防災対策を ——災害に強い街に

7月以降の台風や大雨で、大規模な土砂崩れと、広域的な浸水・冠水災害が occurred。日本共産党市議団は、被災者のご意見を伺い神戸市や、国に届け、篠原台など一部地域の私有地の土砂撤去や、避難所の待遇改善を求めすすめてきました。

私有地の防災・減災工事の助成制度と、災害と被災者の現状に見合った生活再建支援制度の拡充もまったなしです。

同時に、異常気象の頻発や超巨大地震・津波から市民の命や財産を守る抜本的な防災対策をしなければならない重大な時期に来ているのではないのでしょうか。駅前高層ビルや高

速道路建設よりも、砂防ダムや防潮施設など、市民生活に身近な公共事業こそ、最優先に取り組むべきです。また、今回の災害では都心の交通機能がマヒする弱点もうきぼりになりました。三宮一極集中ではなく、各区にいろいろな都市機能を分散させる必要があります。



7月豪雨災害について神戸市に緊急要望する日本共産党市議団

医療・交通・商店街を守る ——安心して住み続けられる街に

郊外の住宅地などで民間の生活利便施設の撤退がすすんでいます。須磨区・県立こども病院のポートアイランドへの移転、垂水区・掖済会病院の小児科廃止、北区・済生会病院の三田市民病院との統合計画など、命の砦である基幹病院が地域から失われつつあります。

また西区では、押部谷団地のスーパー撤退、西神中央でも近隣センターの店舗撤退などがつづいています。

さらに神戸市は、こうした地域から、バスの減便や保育園・幼稚園の廃止などで、追い打ちをかけています。

いま必要なのは、医療・子育て・買い物・交通などに市が責任をもち、住み慣れた街で、孫子の代まで安心して住み続けられる施策です。

都心の駅周辺地域では、地価の高騰で特別養護老人ホームの整備がおくれています。イオンなど大店舗出店のあおりを受け、まちの顔でもある商店街では小売店廃業が増え、活気がうばわれています。駅前再整備は、オフィスビル中心ではなく、バリアフリーの推進や、求められている医療・介護・文化・商業施設の維持・充実こそ必要です。



北区の高校跡地問題で兵庫県と交渉する林議員、朝倉議員、喜田結県議員(右から)

いつでもどこでも、みなさんの声を力に、願い実現に

松本のり子
東灘区 TEL414-8875
企業建設委員会
阪神水道企業団議会議員

西 ただす
東灘区 TEL414-8875
経済港湾委員会(委員長)
大都市行財政委員会

味口としゆき
灘区 TEL881-2581
文教こども委員会
市会運営委員会
未来都市創造委員会(理事)

大前まさひろ
中央区 TEL351-2541
都市防災委員会
未来都市創造委員会

金沢はるみ
北区 TEL987-1130
都市防災委員会
未来都市創造委員会

朝倉えつ子
北区 TEL591-4755
総務財政委員会

神鋼石炭火力発電所増設STOP

——環境にやさしい街に

神戸製鋼石炭火力発電所増設の差し止めを求める訴訟がはじまりました。増設する2基が稼働すれば、神戸製鋼一社のCO2排出量が、神戸市の総排出量を上回ります。石炭火力発電所は、周辺地域に大気汚染を起こし、大企業のもうけが最優先され、地球温暖化防止

という世界の流れに逆行する計画です。

被害を受けるのは、子どもや孫の世代です。日本共産党市議団は、バイオバスや、小水力・地熱・潮力など神戸の豊かな自然を利用した自然エネルギーの促進こそ、環境にやさしく地域経済の活性化にもつながると考えます。



西ただす議員

6月25日の本会議一般質問



神戸の石炭火力発電を考える会

i [トピックス]

いじめ・不正の根絶を

2016年、垂水区の女子中学生が自ら命を絶つ痛ましい事件が起きました。

いじめがあったことを同級生が告発しましたが、それを記録したメモが、教育委員会の指示で隠ぺいされていました。教育委員会は一部の教職員だけに責任を押し付け、形だけの組織改革で幕引きを図ろうとしています。遺族の気持ちに寄りそい事件の真相解明こそ求められています。



学校現場で調査をおこなう今井議員、赤田議員、山本議員(左から)

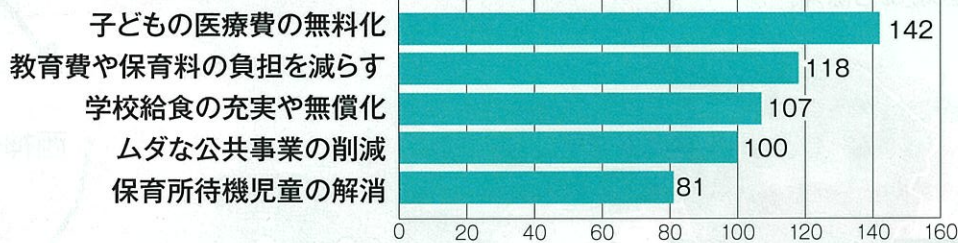
議員団
アンケート

5000人以上の市民のみなさんからご協力いただきました

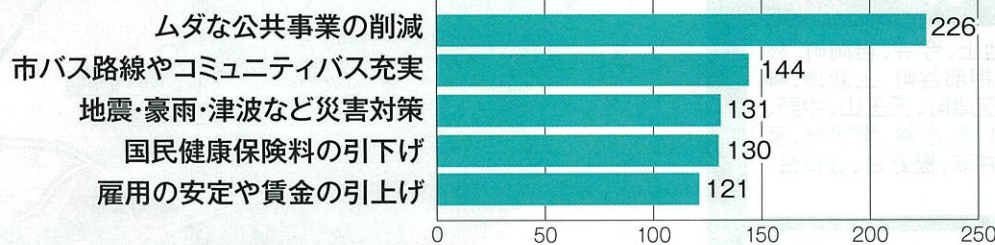
ご協力ありがとうございました。みなさんの願い実現へがんばります。

Q.あなたが神戸市政にのぞむことは？

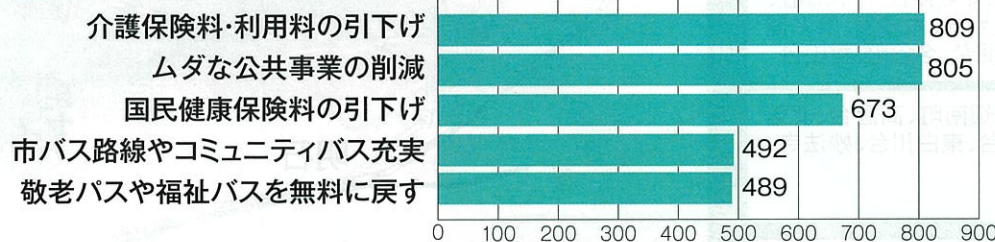
39歳以下



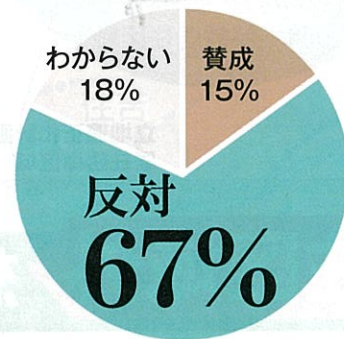
40歳~59歳



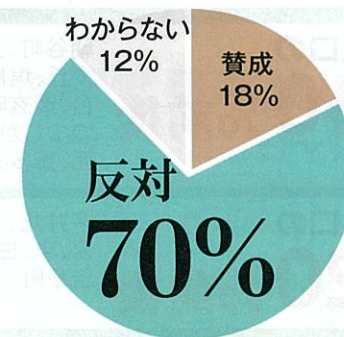
60歳以上



Q.憲法9条(戦争放棄)を変えることについて



Q.消費税の10%への増税について



全力でがんばります 日本共産党神戸市会議員団

- | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| <p>大かわら鈴子
兵庫区 TEL577-7987
経済港湾委員会
市会運営委員会(理事)
外郭団体委員会</p> | <p>森本 真
長田区 TEL642-0448
福祉環境委員会
外郭団体委員会</p> | <p>山本じゅんじ
須磨区 TEL732-6578
企業建設委員会
外郭団体委員会(理事)
阪神水道企業団議会議員</p> | <p>赤田かつのり
垂水区 TEL753-5287
総務財政委員会(副委員長)</p> | <p>今井まさこ
垂水区 TEL753-5287
文教子ども委員会
大都市行財政委員会(理事)</p> | <p>林まさひと
西区 TEL919-6650
福祉環境委員会
大都市行財政委員会
農業委員会委員</p> |
|--|--|--|--|--|--|